

バイオクライマティックデザイン小委員会 2008 年度 第 1 回 議事録

- A. 日時： 2008 年 4 月 11 日（火）17:00～19:00
場所： 建築会館 会議室
- B. 出席者： 長谷川兼一（秋田県立大学）、鈴木康司（OM 計画）、鈴木信恵（武蔵工業大学）、
須永修通（首都大学東京）、廣谷純子（オーガニックテーブル（株））、
深沢たまき（首都大学東京）、宿谷昌則（武蔵工業大学）、北瀬幹哉、
8 名（敬称略、順不同）
- C. 資料： 08-01-1 バイオクライマティックデザイン小委員会 2007 年度第 5 回議事次第、
第 4 回 議事録（案）：齊藤
08-01-2 出版本の企画書 1： 廣谷
08-01-3 事例提案と企画案：北瀬
08-01-4 出版準備のための事例リスト（v3）：長谷川
08-01-5 出版本の企画書 1： 鈴木（信）
- D. 審議事項：
1. 前回議事録の内容を確認した。
 2. 出版に向けて
 - ・小玉先生より 参考になると考えられる本の紹介
 - 1、環境建築ガイドブック 日本建築家協会編
→ 日本における環境建築の流れが掲載 中村美和子執筆（武蔵工業大学）
ゲストスピーカーとして話を聞いてはどうか？
 - 2、ソーラーアーキテクチャー・デザインガイドブック
 - 3、省エネ住宅とスマートライフでストップ地球温暖化 丸善
 - 4、地球環境建築のすすめ 日本建築学会編
 - ・資料 07-5-2 「事例リスト v3」の全体説明（長谷川）
項目の追加についての説明
 - ・企画書の説明
主な内容としては、
 - 廣谷 → 環境工学の教科書のイメージで企画
部位からでなく事例から説明。「断熱と蓄熱」、「通風と換気」など実際の
状況に即した形で情報を整理する。
 - 北瀬 → パーマカルチャーの視点も含めて事例をピックアップしてはどうか
 - 鈴木（信）→ 身体を使って環境を感じることからバイオクライマティックデザインを

紹介する。環境（温度や風速、照度など）を簡易計測方法の伝授から、体感とデータの見方を説明する。

(以下 フリーディスカッション)

- ・コラムを委員が1テーマごとに書くのはいいのではないか。
- ・「断熱と蓄熱」、「通風と換気」などの切り口は昔の本にもあるが、現在と大きく違うのは、計測機器が手軽に手に入るようになったこと。本の内容と連動した形で手軽に使える計測機器についてのデータをCDなどでつけるといいのではないか。
- ・建物の評価をどのように表すのかは議論が必要
「環境性能」、「エネルギー消費」、「コスト」など
これらが整理されていると施主への説明資料として有効。
- ・住宅からビル、パーマカルチャー的な事例まで挙がっているがどのように選択するのか？
地域性とともに読者ターゲットに対応してビルディングタイプ選択できるのでは
例
ターゲット 若い建築家、学生 → オフィスビル、商業施設、集合住宅
本気で環境建築を作りたい人 → 住宅
学校の先生、自治体の人 → 学校
- ・現状で掲載してみたいと思っている事例
事例11 愛媛県八幡浜市 日土小学校
→ 通風・換気・昼光利用の事例となる、かつカッコ良い
事例32 福島県伊達市 静戸の家
→ 蓄熱と断熱のバランスが良く、快適な環境ができているように思われる。
事例未掲載 小玉先生の自宅
事例未掲載 目黒区の中学校
- ・企画としては、廣谷と鈴木のを合体させればいいのではないか？
→ まずは事例を見学し、簡易計測や座談会をしてみる中で、内容を整理したい。
候補としては 小玉先生の自宅、目黒区の中学校が近くていいのではないか。
5月中で日程調整をしてみることにする。

F. 次回委員会の予定：

日時：2008年5月16日

場所：見学先

1) 内容：本の編集スタイルに合わせた見学会の試行

- ・設計者を含めたディスカッション
- ・簡易計測